

# 成果指標の達成度

第4次刈谷市地域福祉計画で定めた成果指標の達成度については、次のとおりです。

## 地域福祉の意識づくり・担い手づくり

指標項目	参考値 (平成25年)	現状値 (平成30年)	調査結果 (令和5年)	目標値 (令和5年)	区分
刈谷市の地域福祉が進んだと感じる割合(非常に進んだ+やや進んだ)	15.4%	16.9%	11.8%	21.0%	一般市民
福祉を学んだことがある人の割合	72.0%	78.2%	85.7%	83.0%	若年者
ボランティア活動への参加割合(参加している)	10.9%	10.5%	10.1%	15.0%	一般市民
ボランティア活動への参加割合(参加している)	15.7%	19.1%	13.0%	24.0%	若年者

- 「刈谷市の地域福祉が進んだと感じる割合」「ボランティア活動への参加割合」は、新型コロナウイルス感染症に伴う地域活動やボランティア活動の自粛等により目標値に達成しませんでした。今後は、地域課題の把握と対策を実施するとともに、ボランティア活動や地域福祉活動の支援をさらに進めていく必要があります。
- 「福祉を学んだことがある人の割合」は、目標値を達成した結果となっています。

## 支え合いのしくみづくり

指標項目	参考値 (平成25年)	現状値 (平成30年)	調査結果 (令和5年)	目標値 (令和5年)	区分
地域のつながりが強いと感じる割合(強い+どちらかといえば強い)	—	25.6%	19.4%	30.0%	一般市民
民生委員・児童委員の認知度(委員も活動内容も知っている)	6.7%	10.2%	7.2%	15.0%	一般市民
社会福祉協議会の認知度(名前も活動も知っている)	12.6%	15.4%	11.9%	20.0%	一般市民

- 「地域のつながりが強いと感じる割合」は、新型コロナウイルス感染症に伴う地域活動の自粛等により目標値に達成しませんでした。今後は、住民同士が気軽に交流でき、つながりを感じられる場づくりが必要です。
- 「民生委員・児童委員の認知度」は、新型コロナウイルス感染症に伴う民生委員活動の自粛等により目標値に達成しませんでした。今後は、活動内容等についてさらなる周知が必要です。

- 「社会福祉協議会の認知度」は、新型コロナウイルス感染症に伴う事業の中止や地域活動の自粛等により目標値に達成しませんでした。地域福祉活動を推進する窓口として、さらなる周知が必要です。

### 安心・安全な福祉のまちづくり

指標項目	参考値 (平成 25 年)	現状値 (平成 30 年)	調査結果 (令和 5 年)	目標値 (令和 5 年)	区分
刈谷市の福祉水準が高いと感じる割合(非常に高い+やや高い)	15.7%	20.9%	<b>18.6%</b>	25.0%	一般市民
避難行動要支援者の認知度(名前も内容も知っている)	10.7%	15.4%	<b>15.2%</b>	20.0%	一般市民
地域包括支援センターの認知度(名前も活動内容も知っている)	9.2%	16.5%	<b>17.2%</b>	21.0%	一般市民
自主防災組織の認知度(名前も活動内容も知っている)	13.7%	27.1%	<b>20.3%</b>	32.0%	一般市民

- 「刈谷市の福祉水準が高いと感じる割合」は、新型コロナウイルス感染症に伴う地域活動の自粛や福祉ニーズの変化等により目標値に達成しませんでした。今後は、ボランティア活動や地域福祉活動の支援をさらに進めていくとともに、福祉教育の充実を図ることが必要です。
- 「避難行動要支援者の認知度」「自主防災組織の認知度」は、防災意識の低下により目標値に達成しませんでした。災害発生時の活動が円滑に進められるよう、さらなる周知が必要です。
- 「地域包括支援センターの認知度」は、現状値から 0.7 ポイント上昇していますが、新型コロナウイルス感染症に伴う地域活動の自粛等により目標値に達成しませんでした。地域包括支援センターは、高齢者の身近な相談窓口であることから、さらなる周知が必要です。